

シラバス情報

| | | | |
|------------|---|-----------------------------------|--------------|
| 授業方法 | 講義 ・ 実験 ・ 実習 | | |
| 系 列 | 実 習 | | |
| 科 目 名 | 電装整備 | | |
| 必修・選択 | 必修科目 ・ 選択科目 | | |
| 対象学科 | 一級自動車整備科・二級自動車整備科自動車整備士コース | | |
| 年次学期・曜日・時限 | 1年前期 | ・ 木～金曜日 | ・ 1時限～8時限 |
| 時 限 数 | 53. 2時限（期末試験を除く） | | |
| 担当教員名 | 溝田 稜・竹森 翔 | | |
| 実務経験 | 有 ・ 無 | | |
| | 国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる電流・電圧・抵抗の測定方法及び電装品の構造についての実習を実施する。 | | |
| 授業の目的 | 自動車に使用されている基礎的な電装品の分解・各 부품の名称を習得する。 | | |
| テキスト | ①電装品構造 (国土交通省自動車交通局推薦) ②三級自動車ガソリン・エンジン (日本自動車整備振興会連合会 発行) ③二級ガソリン自動車・エンジン編 (日本自動車整備振興会連合会 発行) | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| 授業回数 | テーマ | 内容・方法等 | 使用テキスト 範囲 |
| 第1回 | リレー回路 | リレーの概要説明 アナログテスタ・デジタルテスタを用いて測定 | ①・②・③ |
| 第2回 | スタータ・モータ（直結式） | 分解手順・名称・役割の習得 | ①・②・③ |
| 第3回 | スタータ・モータ（外接式） スタータ・モータ（内接式） | 分解手順・名称・役割の習得 | ①・②・③ |
| 第4回 | オルタネータ（ファン内装式） | 分解手順・名称・役割の習得 | ①・②・③ |
| 第5回 | オルタネータ（ファン外装式） バッテリー | 分解手順・名称・役割の習得 | ①・②・③ |
| 第6回 | 半導体・ワイパー・ホーン | 名称・役割の習得 | ①・②・③ |
| 第7回 | コンデンサ・まとめ | 名称・役割の習得 レポート提出 | ①・②・③ |
| | ステップ試験（中間試験） | 第1回から第7回までの授業内容に関する 実技試験 | |
| | 期末試験 | 第1回から第7回までの授業内容に関する 実技試験 | |
| 到達目標 | 自動車に使用されているスタータやオルタネータ等の構造・名称の習得。 半導体の仕組み・役割の理解。 | | |

| | |
|---------------|---|
| 成績評価方法 | 平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。 |
| 定期試験受験資格 | 開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。 |
| 成績評価基準 | <p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p> |
| 成績評価できない場合の基準 | 全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。 |